

クラブに提供して、地区運営の基準を明確にし透明性を高め、②ガバナー補佐および地区の各委員会は、それぞれやりがい、誇り、夢を持って運営にあたり、各委員会が縦割りではなく、お互いに連絡、連携してクラブ支援にあたっていただく必要があると思います。それによって地区とクラブの相互の信頼信用関係を確立することができれば、その結果として、クラブも個々のロータリアンも充実して、今までに増して地区が良くなり、クラブも魅力あるものになって、お互いのロータリーライフが楽しいものになり、豊かになるものと思います。私は「ロータリーの基本はクラブ」と考えています。こちらのクラブに伺って、みなさんがロータリーを楽しんでおられる、そして奉仕活動が活発で、いろんな意味で親睦と奉仕のバランスのとれた素晴らしいクラブの印象を持ちました。ぜひこの小田原城北クラブのエネルギーをさらに知り合いの仲間や地域に広め、リーダークラブとして地区にも広めて戴くようお願いいたします。ロータリーは100人いると100通りのロータリー観があると言われるますが、私は地区とクラブの関係をしっかりもう一度再確認して、「地区はクラブのためにある」という地区運営を心がけたいと思います。一年間ご理解ご支援をお願いいたします。

Q) C L Pを導入して活性化したクラブがあればご紹介頂きたい。

ガバナー) R I が推奨するクラブ活性化としてC L P が機能しているクラブは無いと思う。形としては5つの委員会が組まれたが、その下は今までの委員会構成のまま奉仕活動を含めたクラブの勢いが出ていない。9月に訪問した厚木中クラブでは自分達のクラブに何が必要かを議論し、奉仕活動についても試行錯誤のうえ明確な組織体制を組んでいる事例がある。

Q) 2780地区の事務所は賃料が高いので、ビルを作ったらどうか

ガバナー) 昔は積立をしていたが資金的に難しい。これから考えていきたい。地区会計の透明性も確保していきたいので、月次の決算を会長幹事に報告している。

Q) ライラはボーイスカウト等他団体と連携した方が有効ではないか？また日程も工夫が必要では？

ガバナー) 現在ライラは中断しているが、ローターアクトを含めてどのように支援していけるかを考えていきたい。

Q) 財団からの還付金で2780地区としてまとまった活動をした方が良いのでは？

ガバナー) 未来の夢計画が3年後に適用になる。今までの枠を超えた活動が出来る余地が生まれた。ロータリーは” I Serve ” が基本であるが、奉仕という点でみると全体の枠組みの中で地区として” We Serve ” 的な取り組みをしていきたいので、方向的に賛成である。

Q) 職業奉仕についてC L P導入によって当クラブでは職業奉仕委員会がなくなった。しかし地区では職業奉仕委員会を独立させておりその意味は？

ガバナー) ロータリーが他団体との決定的に異なるのは職業奉仕という理念であると思う。C L Pは柔軟性を有しており今まで3年間の活動を通した結果として地区としては今年度から職業奉仕委員会を独立させた。

Q) 地区としてローターアクトに具体的にどのような支援をしてい

くのか？

ガバナー) スポンサーになっていないグループに地区委員をお願いして理解してもらいたいと思っているが、なかなかその趣旨が理解されていない。群馬県では90名を超えるローターアクトがいる。地区を超えた勉強会をしていきたいと考えている。

Q) ローターアクトを支援しているクラブへの補助金をお願いしたい。

ガバナー) 考えていきたい。

Q) 麻薬撲滅プロジェクト等を9グループの共同プロジェクトにしてはと思うが、ガバナーの考え方は？

ガバナー) ロータリーは” I Serve ” が基本であるが、奉仕については大勢の仲間で活動することがロータリーの公共イメージを高め、効果も高いと考えている。会員数が少ないクラブには交流をし、合同で連携してみればとアドバイスしている。群馬県で川の浄化を地区全体の奉仕プロジェクトとして取り組んだ事例や、平塚では学校や行政などと組んで川の清掃をした事例がある。

Q) 今後の姉妹クラブとの関係性についてアドバイスを頂ければ。

ガバナー) 姉妹提携しているクラブが1/3位ある。多くのクラブが周年行事の懇親でつながっているのみである。今まで培った親睦を土台に相手方とW C Sとの共同事業を展開するなどを目指するのが良いのではないと思う。R I 推奨のマイクロクレジットを実施し、発展途上国の社会の奉仕活動に役立てているクラブもあった。

Q) 地区で女性会員の増強は考えているか？

ガバナー) 地区として増強は考えていない。地区に女性会員に出てもらうようにしてもらっている。地区としても女性の考え方を取り入れることも必要と考えており、制度化について考えている。

Q) 米山奨学金、ロータリー財団の寄付について当クラブは100%を達成している。しかしクラブによってはバラツキがある。これについてガバナーはどのように考えているのか？

ガバナー) 財団については、3年後に50%が当地区に戻り、20%が地区補助金に使われ、2780地区から国際親善奨学生を5人だすという基準から180ドルとなっている。米山については当地区より30人位の奨学生を出すために2万円に設定している。批判については話し合うことで理解を得るようにしている。



次回10月26日は「米山奨学フォーラム」です。